

春爛漫 一年で一番うららかな季節となりました。しかしながら昨年からのコロナウイルスは収まる気配すらなく、入場規制 時間短縮など制限が掛かりせつかくの春も楽しめません。経済の打撃も大きく明日への希望がだんだん薄れてきますね。残念な春は今年限りになってほしいものです。

今回は**製本工程から見た造本企画の注意点**のシリーズ②です

「いつ どこで どのような内容を 誰に」が企画案の柱になっていることでしょう。そして中身と内容を決めていくわけですが、この段階で製品の最終的な加工イメージを固める必要があります。大きさや材料・加工方式等が 中身と一致しているか、出版物であれば販売戦略と合致しているか等を考えていかななくてはなりませんね。これが決まることによって 編集以降のデザインや校正などの作業を進めることができ、当然 製本加工等の見積も発生してきます。

さて製本側から見積もり依頼の際に注意してほしいのは、まず**冊子出来上がりの縦横**です。製本は**縦長に出来上がる事が基本です**縦長なのか横長なのかで見積もりの金額も変わります**(縦長の際には記載は要りません)**縦長とは冊子の**「長手方向を綴じる」事**であり横長は冊子の**「短手方向を綴じる」事**です。当たり前ですが、**意外と記載を忘れがちで、後々製本代が大きく違う事になります**ので、注意して下さい。

横長の冊子は加工手順が同じでも **その加工方法が変わります**。中綴じのみならず無線綴じでも加工方法の多くが横長用になる為いつものように面付けていると加工できない(或いは、きちんと仕上がらない)場合が発生する事になり、また**加工速度も上げられず、想像以上に時間が掛かります**ので、納期等の設定は予め打ち合わせておく安全です。これはチラシ等の折加工でも同様です。大口の折加工では十分に加工会社と納期の打ち合わせをしてください。冊子の縦横が決まれば、おのずと用紙の紙目も決まります。前回188号でも書いた通り紙目は揃えておくことが大切です。



Tea break

緊急遭難信号「SOS」これは万国共通ですが、このSOS何かの頭文字かと思ったら、何の意味もないそうです。単にモールス信号の中で一番打ち易いという事からSOSになったそう。Sは・・・Oは---繋げると・・・---となり、緊急なのだから打ちやすいに越したことは無いですね。ちなみにこのモールス信号を最初に打電したのは、タイタニック号だと言われています。

弊社HPは www.isekiseihon.com

facebookは「井関製本の日々」

by (株) 井関製本